



平成 27 年 6 月 5 日

各 位

会 社 名 北越紀州製紙株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 岸本 哲夫  
(コード番号：3865 東証1部)  
問合せ先 執行役員経営管理部長 真島 馨  
電 話 03-3245-4500

(訂正)「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」の一部訂正について


当社は、平成 27 年 5 月 28 日付適時開示「平成 27 年 3 月期決算短信（連結）の発表期日並びに過年度決算数値の訂正による影響の見込み額等について」にてお知らせしたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

この度、平成 21 年 7 月 29 日付「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所を明確にするため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)

(財)財務会計基準機構会員 

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月29日

上場会社名 北越製紙株式会社

上場取引所 東大

コード番号 3865

URL <http://www.hokuetsu-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 岸本 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 堀川 淳一

TEL 03-3245-4120

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	41,347	△5.7	2,293	206.1	1,898	57.2	835	34.6
21年3月期第1四半期	43,845	—	749	—	1,208	—	620	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第1四半期	3	94	—	—
21年3月期第1四半期	2	92	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
22年3月期第1四半期	302,932	—	135,680	—	44.6	636	65	
21年3月期	313,377	—	135,028	—	42.8	632	42	

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 135,077百万円 21年3月期 134,192百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00	—
22年3月期	—	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 連結累計期間	84,000	△11.1	4,800	18.9	4,000	△2.6	2,000	△6.0	9	43
通期	174,000	△4.8	10,000	23.1	7,500	13.8	4,000	128.6	18	85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年3月期第1四半期 214,052,054株 21年3月期 214,052,054株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 1,881,695株 21年3月期 1,863,014株

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） 22年3月期第1四半期 212,179,881株 21年3月期第1四半期 212,264,439株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成21年4月30日に公表した業績予想は修正を行っております。詳細につきましては、本日（平成21年7月29日）開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・なお、平成22年3月期通期連結業績予想の数値につきましては、平成21年10月1日効力発生予定の株式交換により、当社の完全子会社となる予定の紀州製紙株式会社及びその関係会社の業績予想を含んでおりません。また、平成22年3月期通期連結予想の1株当たり当期純利益算出時の株式数につきましても、本株式交換に際して交付する株式数を含めておりません。これらの業績予想等の数値については、算定でき次第お知らせする予定です。

**【定性的情報・財務諸表等】****1. 連結経営成績に関する定性的情報**

当第1四半期におけるわが国経済は、昨年後半からの急速な景気の悪化が継続し、厳しい状況となりました。

当社グループにおきましても、景気の後退による需要減の影響が大きく、当初の想定よりも減産を強化したことにより、主力のパルプ・紙製造事業における紙・板紙の販売数量が減少しました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は41,347百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

損益面においては、バイオマス・エネルギーの有効利用や生産効率向上、固定費削減策の実施によるコストダウンを推進したことや、原燃料価格が下落したこと等の影響により経常利益は1,898百万円(前年同期比57.2%増)、四半期純利益は835百万円(前年同期比34.6%増)となりました。

**2. 連結財政状態に関する定性的情報**

総資産は、前連結会計年度末に比べて10,445百万円減少し、302,932百万円となりました。これは、主として社債の償還等により現金及び預金が5,920百万円減少したこと、減価償却等により有形固定資産が2,798百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて11,097百万円減少し、167,251百万円となりました。これは、主として第19回無担保社債の償還等により借入金及び社債等の有利子負債の期末残高が9,114百万円減少し、127,945百万円となったことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて652百万円増加し、135,680百万円となりました。これは、主として、保有株式の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が1,461百万円増加したことによるものです。

**3. 連結業績予想に関する定性的情報**

第2四半期累計期間は、昨年度後半よりの景気後退に伴う紙・板紙需要減少に対処するため、当初の想定よりも減産を強化したことが減益要因となりましたが、グループをあげての効率向上策や固定費削減策を実施し、一部原料価格の値下げもあり、サマリー情報「3.平成22年3月期の連結業績予想」の通り、第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたします。

なお、第3四半期以降につきましては、景気対策の効果により、回復期待はあるものの、紙パルプ産業においては需要回復は確実とはなっておりません。当社グループにおきましても、需給調整のための減産の継続、また、一部原燃料価格の上昇も予想されます。これらを勘案して通期の連結業績予想につきましては、前回予想を変更しておりません。

詳細につきましては、本日(平成21年7月29日)開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関して、四半期連結財務諸表提出会社においては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,392	15,313
受取手形及び売掛金	53,386	52,142
商品及び製品	<u>10,866</u>	<u>10,402</u>
仕掛品	1,234	1,022
原材料及び貯蔵品	9,885	11,794
その他	<u>4,381</u>	<u>7,208</u>
貸倒引当金	<u>△44</u>	<u>△22</u>
流動資産合計	<u>89,102</u>	<u>97,860</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,702	63,389
減価償却累計額	<u>△31,421</u>	<u>△30,946</u>
建物及び構築物(純額)	<u>32,280</u>	<u>32,442</u>
機械、運搬具及び工具器具備品	355,954	353,836
減価償却累計額	<u>△221,705</u>	<u>△217,384</u>
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	<u>134,248</u>	<u>136,452</u>
その他	<u>13,924</u>	<u>14,357</u>
有形固定資産合計	<u>180,453</u>	<u>183,252</u>
無形固定資産	884	888
投資その他の資産		
その他	<u>34,506</u>	<u>33,360</u>
貸倒引当金	<u>△2,013</u>	<u>△1,983</u>
投資その他の資産合計	<u>32,492</u>	<u>31,377</u>
固定資産合計	<u>213,830</u>	<u>215,517</u>
資産合計	<u>302,932</u>	<u>313,377</u>

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,349	19,559
短期借入金	<u>51,770</u>	<u>52,329</u>
コマーシャル・ペーパー	3,000	—
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	510	1,641
引当金	987	2,093
その他	9,973	8,800
流動負債合計	<u>84,592</u>	<u>94,423</u>
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	52,707	54,266
退職給付引当金	8,210	8,089
その他の引当金	329	346
負ののれん	194	3
その他	1,217	1,219
固定負債合計	<u>82,659</u>	<u>83,925</u>
負債合計	<u>167,251</u>	<u>178,349</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,020	42,020
資本剰余金	40,244	40,244
利益剰余金	<u>52,794</u>	<u>53,235</u>
自己株式	<u>△1,089</u>	<u>△1,081</u>
株主資本合計	<u>133,970</u>	<u>134,418</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,153	△307
繰延ヘッジ損益	<u>△45</u>	<u>81</u>
評価・換算差額等合計	<u>1,107</u>	<u>△226</u>
少数株主持分	603	835
純資産合計	<u>135,680</u>	<u>135,028</u>
負債純資産合計	<u>302,932</u>	<u>313,377</u>

## (2) 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	43,845	41,347
売上原価	37,461	33,497
売上総利益	6,383	7,849
販売費及び一般管理費合計	5,633	5,556
営業利益	749	2,293
営業外収益		
受取利息	15	9
受取配当金	608	365
その他	315	181
営業外収益合計	939	556
営業外費用		
支払利息	384	436
その他	96	516
営業外費用合計	480	952
経常利益	1,208	1,898
特別利益		
固定資産売却益	12	1
貸倒引当金戻入額	3	2
特別利益合計	16	3
特別損失		
固定資産除売却損	154	37
投資有価証券評価損	1	299
特別損失合計	155	336
税金等調整前四半期純利益	1,068	1,565
法人税、住民税及び事業税	507	511
法人税等調整額	△94	208
法人税等合計	412	719
少数株主利益	35	10
四半期純利益	620	835



## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,068	1,565
減価償却費	3,336	4,937
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	113	120
受取利息及び受取配当金	△623	△375
支払利息	384	436
固定資産除売却損益 (△は益)	141	36
売上債権の増減額 (△は増加)	△202	△1,243
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,233	1,232
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△987	2,742
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,257	△1,261
未払消費税等の増減額 (△は減少)	51	383
その他	△555	△765
小計	△250	7,808
利息及び配当金の受取額	635	387
利息の支払額	△339	△424
法人税等の支払額	△1,871	△1,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,825	6,269
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16	△4
定期預金の払戻による収入	30	20
投資有価証券の取得による支出	△21	△70
投資有価証券の償還による収入	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△13,378	△1,856
有形固定資産の売却による収入	19	2
貸付けによる支出	△11	△14
貸付金の回収による収入	5	9
その他	△22	211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,395	△1,702
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	426	123
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	7,000	3,000
長期借入れによる収入	18,000	—
長期借入金の返済による支出	△745	△2,240
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△1,278	△1,278
少数株主への配当金の支払額	△6	△12
自己株式の取得による支出	△2	△7
その他	—	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,392	△10,461
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△764	△5,904
現金及び現金同等物の期首残高	8,363	15,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,598	9,299

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 四半期連結貸借対照表関係

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
<p>1 不正行為に関連して発生したものが、以下のとおり含まれております。</p> <p>固定資産</p> <p>投資その他の資産</p> <p>その他</p> <p>長期未収入金 1,668百万円</p> <p>貸倒引当金 <u>△1,668</u></p>	<p>1 不正行為に関連して発生したものが、以下のとおり含まれております。</p> <p>固定資産</p> <p>投資その他の資産</p> <p>その他</p> <p>長期未収入金 1,637百万円</p> <p>貸倒引当金 <u>△1,637</u></p>

## (6) 四半期連結損益計算書関係

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<p>1 不正行為に関連して発生した貸倒引当金の繰入額が、以下のとおり含まれております。</p> <p>営業外費用</p> <p>その他 5百万円</p>	<p>1 不正行為に関連して発生した貸倒引当金の繰入額が、以下のとおり含まれております。</p> <p>営業外費用</p> <p>その他 30百万円</p>

## (7) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位：百万円)

	パルプ・紙 製造事業	紙加工品 製造事業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	38,270	4,196	1,378	43,845	—	43,845
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	325	6	18,917	19,250	(19,250)	—
計	38,596	4,203	20,295	63,095	(19,250)	43,845
営業利益	260	204	591	1,056	(306)	749

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の製造方法の類似性等を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な事業

パルプ・紙製造事業	.....	パルプ・紙の製造販売
紙加工品製造事業	.....	紙加工品の製造販売
その他の事業	.....	木材事業、建設業、機械製造・販売・営繕、パルプ等 諸資材の輸入・販売、不動産売買、運送・倉庫業、古 紙卸業、その他

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：百万円)

	パルプ・紙 製造事業	紙加工品 製造事業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	36,258	4,175	912	41,347	—	41,347
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	357	4	5,397	5,759	(5,759)	—
計	36,616	4,180	6,309	47,106	(5,759)	41,347
営業利益	1,922	126	103	2,153	140	2,293

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の製造方法の類似性等を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な事業

パルプ・紙製造事業	.....	パルプ・紙の製造販売
紙加工品製造事業	.....	紙加工品の製造販売
その他の事業	.....	木材事業、建設業、機械製造・販売・営繕、パルプ等 諸資材の輸入・販売、不動産売買、運送・倉庫業、古 紙卸業、その他

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間については、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間については、海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

## (8) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当社グループの生産・販売品目は、広範囲かつ多種多様であり、その内容、構造、形式等は必ずしも一様ではありません。このため、グループ全体の生産高を表示することは困難であります。そこで、当社の主たる品種別生産実績を示すと、次のとおりであります。

(単位：t)

区分		期別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
			数 量	数 量
紙	洋 紙		242,972	247,852
	板 紙		82,491	75,708
	紙 計		325,463	323,559
パ ル プ			191,998	170,061

## (2) 受注実績


当社グループは、一部受注生産を行っているものもありますが、大部分は一般市況及び直接需要を勘案して計画生産を行い、自由契約に基づき販売しております。このため、グループ会社の受注実績を把握することが困難であります。そこで、受注実績については記載を省略しております。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメント毎に示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

区 分		期別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
			金 額	金 額
(パルプ・紙製造事業)				
パ ル プ ・ 紙 製 造 事 業			38,270	36,258
(紙加工品製造事業)				
紙 加 工 品 製 造 事 業			4,196	4,175
(その他の事業)				
建 設 業、機 械 製 造 ・ 販 売 ・ 営 繕			477	223
そ の 他			901	688
小 計			1,378	912
合 計			43,845	41,347

(訂正前)

(財)財務会計基準機構会員 

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月29日

上場会社名 北越製紙株式会社

上場取引所 東大

コード番号 3865

URL <http://www.hokuetsu-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 岸本 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 堀川 淳一

TEL 03-3245-4120

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	41,347	△5.8	2,293	206.0	1,941	59.7	884	40.7
21年3月期第1四半期	43,877	—	749	—	1,216	—	628	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	4.17	—
21年3月期第1四半期	2.96	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	303,292	137,413	45.1	644.81
21年3月期	313,731	136,712	43.3	640.36

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 136,810百万円 21年3月期 135,876百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	84,000	△11.1	4,800	18.8	4,000	△3.9	2,000	△8.4	9.43
通期	174,000	△4.8	10,000	23.1	7,500	11.1	4,000	109.1	18.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- |                      |             |              |             |              |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  | 22年3月期第1四半期 | 214,052,054株 | 21年3月期      | 214,052,054株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第1四半期 | 1,881,695株   | 21年3月期      | 1,863,014株   |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 22年3月期第1四半期 | 212,179,881株 | 21年3月期第1四半期 | 212,264,439株 |

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成21年4月30日に公表した業績予想は修正を行っております。詳細につきましては、本日（平成21年7月29日）開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・なお、平成22年3月期通期連結業績予想の数値につきましては、平成21年10月1日効力発生予定の株式交換により、当社の完全子会社となる予定の紀州製紙株式会社及びその関係会社の業績予想を含んでおりません。また、平成22年3月期通期連結予想の1株当たり当期純利益算出時の株式数につきましても、本株式交換に際して交付する株式数を含めておりません。これらの業績予想等の数値については、算定でき次第お知らせする予定です。

**【定性的情報・財務諸表等】****1. 連結経営成績に関する定性的情報**

当第1四半期におけるわが国経済は、昨年後半からの急速な景気の悪化が継続し、厳しい状況となりました。

当社グループにおきましても、景気の後退による需要減の影響が大きく、当初の想定よりも減産を強化したことにより、主力のパルプ・紙製造事業における紙・板紙の販売数量が減少しました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は41,347百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

損益面においては、バイオマス・エネルギーの有効利用や生産効率向上、固定費削減策の実施によるコストダウンを推進したことや、原燃料価格が下落したこと等の影響により経常利益は1,941百万円(前年同期比59.7%増)、四半期純利益は884百万円(前年同期比40.7%増)となりました。

**2. 連結財政状態に関する定性的情報**

総資産は、前連結会計年度末に比べて10,439百万円減少し、303,292百万円となりました。これは、主として社債の償還等により現金及び預金が5,920百万円減少したこと、減価償却等により有形固定資産が2,798百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて11,140百万円減少し、165,878百万円となりました。これは、主として第19回無担保社債の償還等により借入金及び社債等の有利子負債の期末残高が9,157百万円減少し、126,572百万円となったことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて701百万円増加し、137,413百万円となりました。これは、主として、保有株式の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が1,461百万円増加したことによるものです。

**3. 連結業績予想に関する定性的情報**

第2四半期累計期間は、昨年度後半よりの景気後退に伴う紙・板紙需要減少に対処するため、当初の想定よりも減産を強化したことが減益要因となりましたが、グループをあげての効率向上策や固定費削減策を実施し、一部原料価格の値下げもあり、1ページ「3.平成22年3月期の連結業績予想」の通り、第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたします。

なお、第3四半期以降につきましては、景気対策の効果により、回復期待はあるものの、紙パルプ産業においては需要回復は確実とはなっておりません。当社グループにおきましても、需給調整のための減産の継続、また、一部原燃料価格の上昇も予想されます。これらを勘案して通期の連結業績予想につきましては、前回予想を変更しておりません。

詳細につきましては、本日(平成21年7月29日)開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関して、四半期連結財務諸表提出会社においては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。



## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,392	15,313
受取手形及び売掛金	53,386	52,142
商品及び製品	<u>11,201</u>	<u>10,737</u>
仕掛品	1,234	1,022
原材料及び貯蔵品	9,885	11,794
その他	<u>4,398</u>	<u>7,220</u>
貸倒引当金	<u>△44</u>	<u>△22</u>
流動資産合計	<u>89,454</u>	<u>98,206</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,702	63,389
減価償却累計額	<u>△31,421</u>	<u>△30,946</u>
建物及び構築物(純額)	<u>32,280</u>	<u>32,442</u>
機械、運搬具及び工具器具備品	355,954	353,836
減価償却累計額	<u>△221,705</u>	<u>△217,384</u>
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	<u>134,248</u>	<u>136,452</u>
その他	<u>13,924</u>	<u>14,357</u>
有形固定資産合計	<u>180,453</u>	<u>183,252</u>
無形固定資産	884	888
投資その他の資産	<u>32,499</u>	<u>31,384</u>
固定資産合計	<u>213,837</u>	<u>215,524</u>
資産合計	<u>303,292</u>	<u>313,731</u>

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,349	19,559
短期借入金	<u>50,397</u>	<u>50,999</u>
コマーシャル・ペーパー	3,000	—
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	510	1,641
引当金	987	2,093
その他	9,973	8,800
流動負債合計	<u>83,219</u>	<u>93,093</u>
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	52,707	54,266
退職給付引当金	8,210	8,089
その他の引当金	329	346
負ののれん	194	3
その他	1,217	1,219
固定負債合計	<u>82,659</u>	<u>83,925</u>
負債合計	<u>165,878</u>	<u>177,019</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,020	42,020
資本剰余金	40,244	40,244
利益剰余金	<u>54,527</u>	<u>54,919</u>
自己株式	<u>△1,089</u>	<u>△1,081</u>
株主資本合計	<u>135,702</u>	<u>136,102</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,153	△307
繰延ヘッジ損益	<u>△45</u>	<u>81</u>
評価・換算差額等合計	<u>1,107</u>	<u>△226</u>
少数株主持分	603	835
純資産合計	<u>137,413</u>	<u>136,712</u>
負債純資産合計	<u>303,292</u>	<u>313,731</u>

## (2) 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	43,877	41,347
売上原価	37,494	33,497
売上総利益	6,383	7,849
販売費及び一般管理費合計	5,633	5,556
営業利益	749	2,293
営業外収益		
受取利息	15	9
受取配当金	608	365
その他	315	181
営業外収益合計	939	556
営業外費用		
支払利息	382	424
その他	90	485
営業外費用合計	473	909
経常利益	1,216	1,941
特別利益		
固定資産売却益	12	1
貸倒引当金戻入額	3	2
特別利益合計	16	3
特別損失		
固定資産除売却損	154	37
投資有価証券評価損	1	299
特別損失合計	155	336
税金等調整前四半期純利益	1,076	1,608
法人税、住民税及び事業税	507	511
法人税等調整額	△94	202
法人税等合計	412	713
少数株主利益	35	10
四半期純利益	628	884

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,076	1,608
減価償却費	3,336	4,937
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	113	120
受取利息及び受取配当金	△623	△375
支払利息	382	424
固定資産除売却損益 (△は益)	141	36
売上債権の増減額 (△は増加)	△222	△1,243
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,117	1,232
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△987	2,742
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,253	△1,261
未払消費税等の増減額 (△は減少)	51	383
その他	△555	△765
小計	△152	7,839
利息及び配当金の受取額	635	387
利息の支払額	△337	△412
法人税等の支払額	△1,871	△1,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,725	6,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16	△4
定期預金の払戻による収入	30	20
投資有価証券の取得による支出	△21	△70
投資有価証券の償還による収入	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△13,378	△1,856
有形固定資産の売却による収入	19	2
貸付けによる支出	△11	△14
貸付金の回収による収入	5	9
その他	△22	211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,395	△1,702
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	326	80
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	7,000	3,000
長期借入れによる収入	18,000	—
長期借入金の返済による支出	△745	△2,240
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△1,278	△1,278
少数株主への配当金の支払額	△6	△12
自己株式の取得による支出	△2	△7
その他	—	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,292	△10,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△764	△5,904
現金及び現金同等物の期首残高	8,363	15,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,598	9,299

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位：百万円)

	パルプ・紙 製造事業	紙加工品 製造事業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	38,270	4,196	1,411	43,877	—	43,877
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	325	6	18,917	19,250	(19,250)	—
計	38,596	4,203	20,328	63,127	(19,250)	43,877
営 業 利 益	260	204	592	1,056	(306)	749

## (注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の製造方法の類似性等を考慮して区分しております。

## 2. 各事業の主な事業

パルプ・紙製造事業 …………… パルプ・紙の製造販売  
紙加工品製造事業 …………… 紙加工品の製造販売  
その他の事業 …………… 木材事業、建設業、機械製造・販売・営繕、パルプ等  
諸資材の輸入・販売、不動産売買、運送・倉庫業、古  
紙卸業、その他

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：百万円)

	パルプ・紙 製造事業	紙加工品 製造事業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	36,258	4,175	912	41,347	—	41,347
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	357	4	5,397	5,759	(5,759)	—
計	36,616	4,180	6,309	47,106	(5,759)	41,347
営 業 利 益	1,922	126	103	2,153	140	2,293

## (注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の製造方法の類似性等を考慮して区分しております。

## 2. 各事業の主な事業

パルプ・紙製造事業 …………… パルプ・紙の製造販売  
紙加工品製造事業 …………… 紙加工品の製造販売  
その他の事業 …………… 木材事業、建設業、機械製造・販売・営繕、パルプ等  
諸資材の輸入・販売、不動産売買、運送・倉庫業、古  
紙卸業、その他

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間については、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間については、海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当社グループの生産・販売品目は、広範囲かつ多種多様であり、その内容、構造、形式等は必ずしも一様ではありません。このため、グループ全体の生産高を表示することは困難であります。そこで、当社の主たる品種別生産実績を示すと、次のとおりであります。

(単位：t)

区分		期別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
			数 量	数 量
紙	洋 紙		242,972	247,852
	板 紙		82,491	75,708
	紙 計		325,463	323,559
パ ル プ			191,998	170,061

## (2) 受注実績

当社グループは、一部受注生産を行っているものもありますが、大部分は一般市況及び直接需要を勘案して計画生産を行い、自由契約に基づき販売しております。このため、グループ会社の受注実績を把握することが困難であります。そこで、受注実績については記載を省略しております。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメント毎に示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

区 分		期別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
			金 額	金 額
(パルプ・紙製造事業)				
パ ル プ ・ 紙 製 造 事 業			38,270	36,258
(紙加工品製造事業)				
紙 加 工 品 製 造 事 業			4,196	4,175
(その他の事業)				
建 設 業、機 械 製 造 ・ 販 売 ・ 営 繕			477	223
そ の 他			933	688
小 計			1,411	912
合 計			43,877	41,347